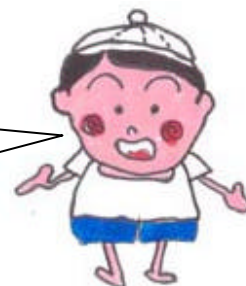


具体的な取組

体育学習においても個に応じ、個を伸ばす学習、児童の主体的な学習を重視した「めあて学習」を積極的に実践・拡充することが強く求められているよ。



1 教科体育による指導

(1) これから求められる体育学習について

これからの学校は、「ゆとり」の中で「生きる力」の育成を目指し、子どもたちが「自ら学び、自ら考える教育」へと改善していかなければなりません。



児童の「生きる力」をはぐくむためにも、たくましく生きるための体力の向上や豊かな人間性をはぐくむ学習を考えていくことが大切になってくるんだね。

個に応じ、個を伸ばす学習

児童の個性を重視し、それぞれの能力・適性や興味・関心など、個に応じた学習を進めることが大切になります。

児童の持っている力を最大限に生かしながら、個の持つ良さを認め、拡大し、伸ばしていくという積極的な取り組みも重視されます。

自発性・自主性に基づく学習

児童一人一人が自分の能力に適した課題を持ち、その解決に向かって自発的・自主的に取り組んでいく学習が求められています。

自発的・自主的に取り組んでいくためには、教師の働きかけが必要になるね。
指導すべきことは、教師がしっかり指導することも大切なんだね。



生涯スポーツを目指す学習

児童一人一人が運動に親しみ、生涯にわたり主体的に運動を実践できるようにするための能力や態度を身に付けていくことが求められています。

体力の向上と豊かな人間性をはぐくむ学習

児童の健康や体力は、「生きる力」を支える基盤として不可欠なものです。体力の向上は、運動に親しむことと関連を図りながら、児童一人一人の実態に応じて、自発的・自主的に取り組める能力や態度を育成することが求められます。

運動やスポーツの実践を通して、仲間や相手を尊重したり、協力したり、励まし合い、共通したルールの下で競い合うことにより公正な態度を養うなど豊かな人間性をはぐくむよう配慮することも大切です。